

Press Release

令和7年11月25日

報道機関各位

**横山仁美氏 公開講演会
「雨雲出版ができるまで—構造的差別に抗う南アフリカ文学と
その翻訳」の開催について**

雨雲出版代表・横山仁美氏による公開講演会「雨雲出版ができるまで—構造的差別に抗う南アフリカ文学とその翻訳」を下記の日程で開催いたします。

つきましては、本催事に関して、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

名 称 : 雨雲出版ができるまで—構造的差別に抗う南アフリカ文学とその翻訳

日 時 : 2025年12月5日（金） 16時45分～18時30分（開場 16時30分）

場 所 : 富山大学人文学部2階第4講義室（富山市五福3190）

参加対象 : 学生、教員、一般

申込方法 : 予約不要

概 要

2025年12月5日（金）に、雨雲出版代表・横山仁美氏による公開講演会「雨雲出版ができるまで—構造的差別に抗う南アフリカ文学とその翻訳」を本学人文学部で行います。

横山仁美氏は、ベッシー・ヘッドの小説『雨雲の集まるとき』（英語原書1968年、日本語訳2025年）の翻訳者として現在注目を集めている方です。ベッシー・ヘッド（1937–1986年）は、南アフリカ出身の重要作家であり、『雨雲の集まるとき』は、亡命先のボツワナで作家が発表した長編第一作です。この小説は、アパルトヘイト（人種差別に基づく隔離政策）の抑圧から逃れ、自由を求めて国境を越えた青年マカヤを主人公とし、貧困、開発、宗教、民主主義、ジェンダー、部族主義を鋭い筆致で描き出したアフリカ文学の傑作です。

横山氏は、英国エдинバラ大学大学院アフリカ研究センター修士課程修了後、外務省JICA、JETROなどを経て、開発コンサルタントとしてアフリカ各国の国際協力プロジェクトに携わってこられました。2023年、言葉と対話を通じて世界とつながる場として横山氏は雨雲出版を設立し、自ら翻訳した『雨雲の集まるとき』を2025年に出版されました。その活動はすでに多くのメディアから注目されています。

この度、横山仁美氏を本学にお迎えし、アパルトヘイトの歴史的経緯、反アパルトヘイト運動としての文学創造の意義、そしてそれを翻訳・出版することが現代の日本にもたらす文化的・社会的意義についてご講演いただきます。人権問題一般に关心を持つ学生、教員、一般の方々の来場を歓迎します。

※詳細は別添のポスターをご参照ください。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 人文学部 福島亮研究室

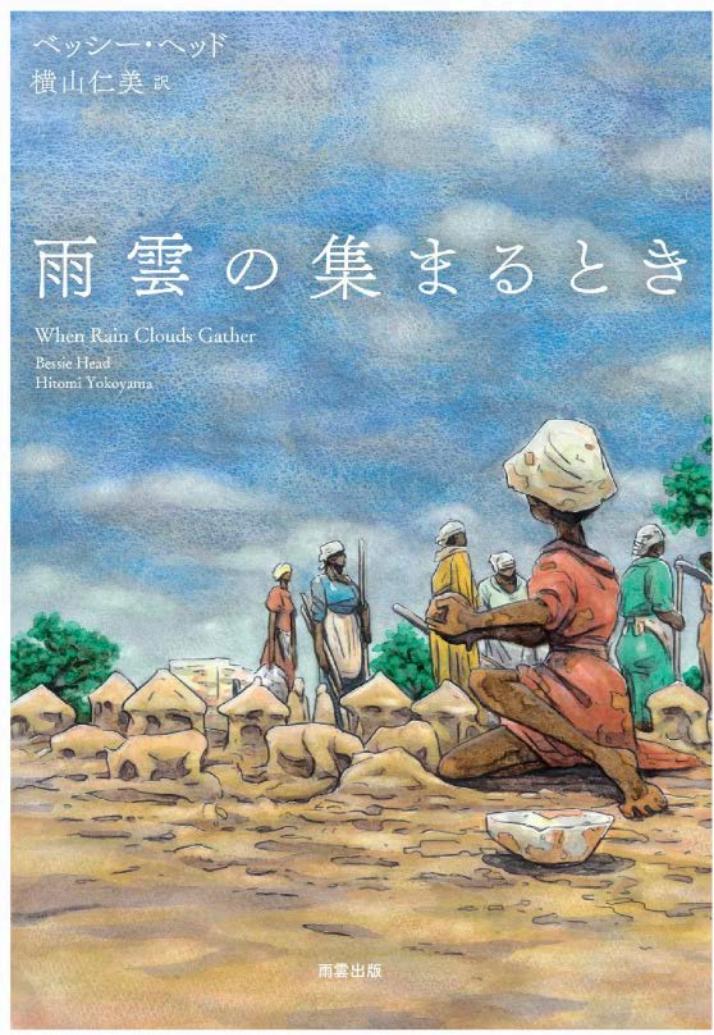
TEL : 076-445-6131 (人文学部総務担当) Email : ryofkshm@hmt.u-toyama.ac.jp

【本発表資料の配信元】富山大学総務部総務課広報・基金室 (TEL) 076-445-6028 (FAX) 076-445-6063

横山 仁美 氏 公開講演会

雨雲出版ができるまで

構造的差別に抗う南アフリカ文学とその翻訳



アパルトヘイト下の南アフリカに生まれ、ボツワナに亡命した作家ベッシー・ヘッド。その代表作『雨雲の集まるとき』を翻訳し、出版するために雨雲出版を立ち上げた横山仁美さんをお迎えし、「構造的差別」という問題について考えます。差別、不平等、人権問題……現代まで続くこれらの課題に対して、私たちは何ができるのでしょうか？

『雨雲の集まるとき』とは？

アパルトヘイト時代の南アフリカから、自由を求めて国境フェンスを越え独立前夜のボツワナへ亡命した元ジャーナリスト青年マカヤ。自由の国であるはずのボツワナで農業開発に関わりながら、差別や抑圧、人間の善悪を目の当たりにする。貧困、開発、宗教、民主主義、ジェンダー、部族主義など複雑に絡まり合った力関係を描き出す心奪われるアフリカ農村の物語。1968年に原書出版、日本語訳は2025年に刊行。

2025年

12月5日（金）

Open 16:30 Start 16:45

富山大学人文学部第四講義室

人文学部棟2階

予約不要、無料、一般参加歓迎

お問合せ先：

富山大学人文学部福島亮研究室

ryofkshm@hmt.u-toyama.ac.jp

横山 仁美（よこやま ひとみ）

1976年生まれ。大学在学中にアフリカ地域研究に关心を持ち、南部アフリカの作家ベッシー・ヘッドの翻訳に取り組む。英国エディンバラ大学大学院アフリカ研究センター修士課程修了。外務省、JICA、JETROなどを経て、開発コンサルタントとしてアフリカ各国の国際協力プロジェクトに携わる。2023年、言葉と対話を通じて世界とつながる場として雨雲出版を設立。



ベッシー・ヘッド著／横山仁美訳
2025年5月刊行

雨雲の集まるとき

1968年アパルトヘイト時代
南アフリカから亡命した重要作家ベッシー・ヘッドが
ボツワナ農村を舞台に描く現代社会への問いかけ



雨雲出版

RAIN CLOUDS PUBLISHING

メディア掲載一覧（2025年10月現在）

Real Sound Book（2025年10月19日）

斎藤真理子 × 横山仁美が語る、『雨雲の集まるとき』の現代的価値「差別は他者に対する想像力の欠如から生まれる」

<https://realsound.jp/book/2025/10/post-2187641.html>

日経新聞（2025年9月13日）

アフリカ現代文学、世界の矛盾と混沌を凝縮 邦訳も活発

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUD264UB0W5A820C2000000/>

Real Sound Book（2025年8月13日）

アフリカ文学の傑作『雨雲の集まるとき』を刊行するために自ら出版社設立——
雨雲出版・横山仁美に聞く、ベッシー・ヘッドの真価

<https://realsound.jp/book/2025/08/post-2120115.html>

徳島新聞（2025年7月31日）

横山仁美さん(父が神山出身)に聞く アフリカ舞台の小説邦訳出版、差別生まない使命を胸に何度も断られても諦めず

<https://www.topics.or.jp/articles/-/1280509>

徳島新聞（2025年6月13日）

神山町ゆかりの横山さん 30年かけ南アフリカ作家の小説邦訳 人間の根源描く力に魅了され、出版社立ち上げ刊行

<https://www.topics.or.jp/articles/-/1254772>